

上部消化管内視鏡(胃カメラ) 検査を受けられる方はお読みください

(1日ドックコース・PETプレミアムコースのいずれかをお選びの方)

上部消化管内視鏡検査は、細く柔らかいチューブの先にレンズがついた内視鏡で、食道・胃・十二指腸の病気を調べる検査です。麻酔を使用して鼻からチューブを通しますが、鼻腔の状態により、検査が行えない場合があります。苦痛のない安全な検査をお受けいただけるよう、ご理解とご協力をお願い致します。

1. 次の(1)～(3)に該当する場合は、検査を受けられない可能性があります。該当する場合は事前にお申し出下さい。

- (1) 現在鼻やのどの病気をお持ちの方、またこれまでに鼻やのどの手術歴がある方
- (2) これまでに食道や胃の病歴や手術歴のある方
- (3) 緑内障をお持ちの方

2. 当センターでは原則として、鼻から内視鏡を挿入し、検査を行います。鼻腔が狭いなどの理由によって検査が行えない場合は、口から内視鏡を挿入して検査を行うことも可能です。あらかじめ口から内視鏡を挿入しての検査をご希望される場合には、前もってご連絡いただきますようお願いいたします。

3. 検査前から検査終了までの注意事項

- (1) 食事について
内視鏡検査は、胃の中に食べ物が残った状態では十分な検査を行えません。そのため、検査前日の食事は午後10時までに済ませ、検査当日は絶食として下さい。ただし、お茶やお水は適度に摂って結構です(検査当日もコップ1杯程度のお水は飲んでも構いません)。また、前日の食事は油物や固いものを避け、消化の良いものにして下さい。
- (2) 現在服用されているお薬について
検査当日の服用方法については、主治医の指示に従って下さい。
- (4) 検査時に取り外していただくもの
入れ歯を使用されている方は、検査の前にお取り外し下さい。
また、口紅を使用されている方は、拭き取っていただくようお願いいたします。

4. 検査時の注意事項

- (1) 検査前に胃の中の泡を消し、見えやすくするお薬をお飲みいただきます。その後、鼻とのどをしびれさせる麻酔薬を鼻から注入し、さらに本格的な麻酔の為にスティックを鼻へ挿入します。
- (2) 内視鏡が鼻に挿入された後は、ゆっくり鼻で息をするようにして下さい。また、つばがたまって飲み込まず、口の外へ出して下さい。げっぷはなるべく我慢していただくようお願いいたします。
- (3) 検査の途中でお腹が張ってきますが、空気を入れているためであり、異常はありません。
- (4) 検査中はなるべくリラックスして、担当する医師の指示に従って下さい。
もし検査中に苦しくなったら、すぐにスタッフにお知らせ下さい。

5. 検査後の注意事項

しばらくは麻酔が効いていますので、約1時間は飲食ができません。また、この間はタバコの喫煙もお止め下さい。1時間後、水を飲んででもむせないようでしたら食事をしても結構です。

6. 検査前に医師による問診を行います。その際、医師の判断により検査を中止する場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。また、問診時に内視鏡検査同意書へのご署名をお願いいたします。同意書の内容を十分ご確認の上、ご署名下さい。